

令和4年度第1回練馬区立美術館運営協議会次第

日 時：令和4年11月2日(水)午前10時30分

場 所：サンライフ練馬 研修室

委嘱状交付

挨拶

- 1 会長・副会長の選出
- 2 令和3年度事業報告
 - (1) 展覧会事業
 - (2) 教育普及事業
 - (3) 美術作品の収集事業
 - (4) 施設利用状況
 - (5) 広報活動と反響
- 3 令和4年度事業計画(中間報告)
 - (1) 展覧会事業
 - 「時代を映す絵画たち コレクションにみる戦後美術の歩み」展
 - 「生誕100年 朝倉摂」展
 - 「日本の中のマネ 出会い、120年のイメージ」展
 - 「平子雄一×練馬区立美術館コレクション[遺産、変形、再生]」展
 - 「本と絵画の800年 吉野石膏所蔵の貴重書と絵画コレクション」展
 - (2) 教育普及事業
 - (3) 新型コロナウイルス感染症対策
- 4 美術館再整備について
- 5 その他

令和4年度

第1回 練馬区立美術館運営協議会資料

令和4年11月

令和4年度第1回練馬区立美術館運営協議会資料 目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
練馬区立美術館運営協議会条例	3
1 令和3年度事業報告	5
(1) 展覧会事業	
(2) 教育普及事業	
令和3年度教育普及事業実績	7
令和3年度博物館実習受入実績	15
令和3年度美術館サポーター活動実績	16
(3) 美術作品の収集事業	
令和3年度美術作品の収蔵状況	17
令和3年度練馬区立美術館寄贈・寄託等リスト	18
令和3年度収蔵品貸出一覧	22
令和3年度美術館収蔵品データベースに対する反響	23
(4) 施設利用状況	24
(5) 広報活動と反響	25
2 令和4年度事業計画(中間報告)	
(1) 展覧会事業	32
「時代を映す絵画たち コレクションにみる戦後美術の歩み」展	33
「生誕100年 朝倉摂」展	34
「日本の中のマネ 出会い、120年のイメージ」展	35
「平子雄一×練馬区立美術館コレクション[遺産、変形、再生]」展	36
「本と絵画の800年 吉野石膏所蔵の貴重書と絵画コレクション」展	37
(2) 教育普及事業	38
(3) 新型コロナウイルス感染症対策	40

第19期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

	氏 名	役 職
学識経験者	タカハシ ヨウジ 高橋 幸次	国際ファッション専門職大学教授 元日本大学芸術学部 教授
	イズイ ヒデカズ 伊豆井 秀一	元埼玉県立近代美術館 主席学芸主幹
	サトウ ヤスヒロ 佐藤 康宏	美術史家
	シマダ ノリオ 島田 紀夫	実践女子大学名誉教授
	ナイトウ マサト 内藤 正人	慶応義塾大学教授
	マブチ アキコ 馬淵 明子	日本女子大学名誉教授
練馬区議会 議員	シバタ さちこ 柴田 さちこ	区議会議員
	やない カツコ やない 克子	区議会議員
	コマツ あゆみ 小松 あゆみ	区議会議員
	トミタ けんじ 富田 けんじ	区議会議員
公募区民	スドウ アサヨ 須藤 麻世	公募区民
	ハタ チエヨ 畑 智江子	公募区民
	インハラ ヒデオ 石原 秀男	公募区民
美術団体 関係者	ヨシダ ミゾウ 吉田 巳蔵	練馬・文化の会代表
	シマダ コウイチロウ 島田 紘一呂	練馬区美術家協会会長
学校教育 関係者	エガワ サトシ 江川 誠志	区立中学校校長
	ミヤザキ ハルミ 宮崎 晴美	区立小学校校長

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月8日

条例第45号

(設置)

第1条 練馬区立美術館(以下「美術館」という。)の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第3条 協議会は、委員19人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8人以内
- (2) 練馬区議会議員 4人以内
- (3) 区民 3人以内
- (4) 美術団体関係者 2人以内
- (5) 学校教育関係者 2人以内

2 前項第3号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第6条 協議会に会長および副会長を各1人置く。

- 2 会長および副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議長は、会長が務める。
- 4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くこ

とができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則 (平成23年12月条例第53号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則 (平成26年12月条例第49号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

1 令和3年度事業報告

(1) 展覧会事業

令和3年度 展覧会事業日程および観覧者数

(ア) 企画展

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
7月25日(日) ~9月12日(日)	没後20年 まるごと馬場のぼる展 - 描いた つくった 楽しんだ ニャゴ! -	43	19,350 (450)	28,739 (668)	148.5%
9月23日(木・祝) ~11月14日(日)	ピーター・シスの闇と夢展	46	16,100 (350)	11,296 (246)	70.2%
2月6日(日) ~3月27日(日)	生誕110年 香月泰男展	43	8,600 (200)	12,010 (279)	139.7%
	合 計	132	44,050 (334)	52,045 (394)	118.1%
	前年度	116	40,500 (349)	29,145 (251)	前年度比 178.6%

(イ) コレクション展

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
6月1日(火) ~6月20日(日)	8つの意表展 ~ 絵画を描く、絵に描く、 画家たちのキセキ ~	18	1,800 (100)	1,551 (86)	86.2%
11月23日(火・祝) ~1月30日(日)	収蔵作品による 小林清親展 【増補】 - サプリメント -	55	6,600 (120)	7,055 (128)	106.9%
	合 計	73	8,400 (115)	8,606 (118)	102.5%
	前年度	116	19,590 (169)	10,372 (89)	前年度比 83.0%

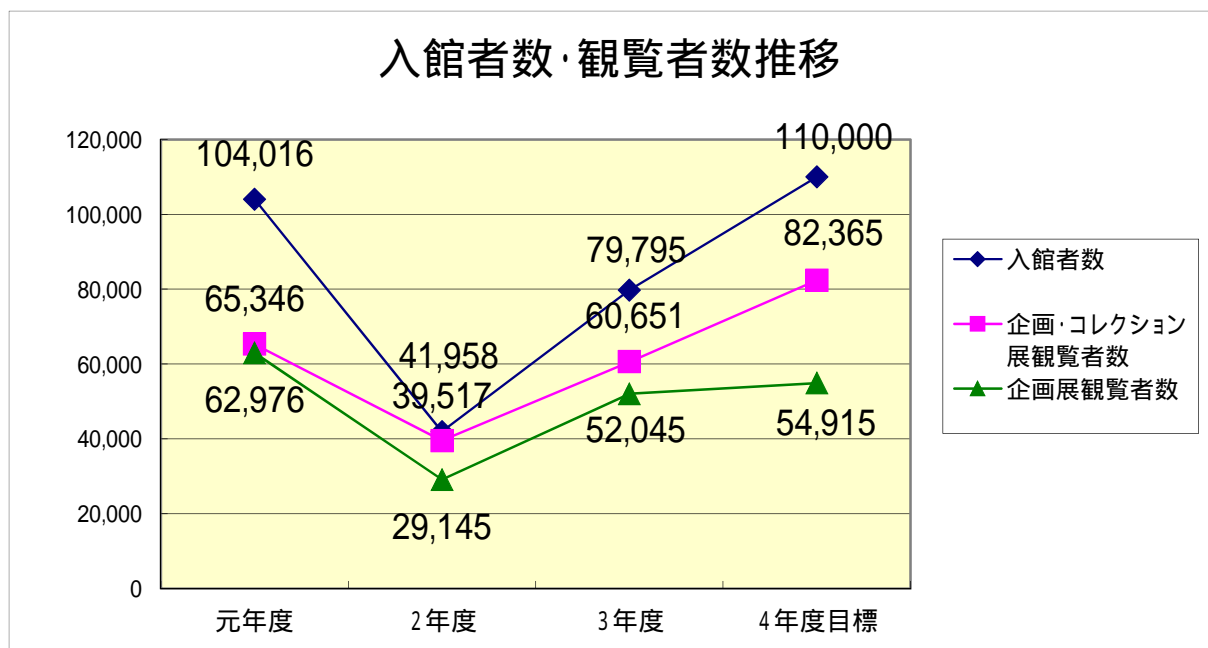
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館により開幕を延期
当初予定 会期: 4月30日(金) ~ 6月20日(日) 開催日数: 45日

企画展・コレクション展観覧者数(実数)比較	2年度	3年度	前年度比
	39,517	60,651	153.5%

(ウ) 各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
7月2日(金) ～7月11日(日)	第67回練馬区美術家協会展	9	1,163 (129)	
12月18日(土) ～12月26日(日)	第53回練馬区民美術展	8	1,991 (249)	
1月15日(土) ～1月19日(水)	中学校生徒作品展	0	中止	
1月22日(土) ～1月27日(木)	小学校連合図工展	0	中止	
1月29日(土) ～1月30日(日)	小・中学校連合書きぞめ展	0	中止	
合 計		17	3,154 (186)	前年度比 196.8%
前年度		8	1,603 (200)	

入館者数比較	2年度	3年度	前年度比
	41,958	79,795	190.2%



(2)教育普及事業

令和3年度 教育普及事業実績

令和4年9月30日作成

館内事業

）展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数は減少した。

関連ワークショップ・講座

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
馬場のぼる展関連ワークショップ	みんなで11ぴき！ 四コマねこワールド [A]	8月6日(金) 10:30～12:30	眞子 みほ(当館学芸員)・ねりまサポステワークショップ制作委員会	展覧会鑑賞後ねりまサポートステーションと協働企画で11ぴきのねこのキャラクターを考えおおきな四コマ漫画を制作した。	小学生	100円(材料費)+当日の観覧券が必要	78	11	
	みんなで12ぴき！ 四コマねこワールド [B]	8月6日(金) 14:00～16:00					55	11	
	つながるつながる マラソン大会(貫井 図書館×練馬区 立美術館)	8月7日(土) 14:00～16:00	眞子 みほ(当館学芸員)・貫井図書館職員	展覧会鑑賞後画用紙をつなぎ全員で一枚のマラソン風景を描いた。	小学生以上		20	59	18
小林清親展関連美術講座	浮世絵(多色木版)にチャレンジ！ 絵師・彫り師・刷り師になろう！	1月22日(土) 10:30～17:00 1月23日(日) 10:30～17:00 [2日制]	内山良子(版画家)	展覧会鑑賞後最大4版の多色木版に挑戦した。	中学生以上	2500円	10	37	10
香月泰男展関連ワークショップ	空想建築 立体モチーフから作る絵画制作	3月19日(土) 10:30～17:00 3月20日(日) 10:30～17:00 [2日制]	山口茉莉(版画家・美術家)	香月が先に作った立体をモチーフに描いていたことに倣い、1日目にテラコッタ粘土で空想の建築物を作り2日目はそれをモチーフに絵を描いた。	中学生以上	2000円+初日の観覧券が必要	10	16	10
							245	60	
計5回 参加者延60名									

ギャラリートーク・アーティストトーク・スライドトーク

事業名	日程	スピーカー	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
ピーター・シス展	動画配信による ギャラリートーク	とに～ (アーティスト) 小野 寛子 (当館学芸員)	YouTubeでの配信					(視聴数) 1709
小林清親展	学芸員によるスライドトーク	加藤 陽介 (当館学芸員)	担当学芸員がスライドを使って展覧会の見どころを解説		無料 観覧券 必要(当日以外の半券でも可)	20	29	20
	1月8日(土・祝) 15:00～15:20					20	23	20
香月泰男展	学芸員によるスライドトーク	喜寿 孝臣 (当館学芸員)	担当学芸員がスライドを使って展覧会の見どころを解説		無料 観覧券 必要(当日以外の半券でも可)	30	32	26
	3月18日(金) 14:00～14:20					30	46	26
							130	92
計5回 参加者延92名								

講演会、シンポジウム等

事業名	日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
馬場のぼる展	11ぴきのねこの世界を支えたもの	8月1日(土) 15:00～16:30	関谷裕子 (こぐま社編集長)	馬場氏の担当編集者だった関谷氏より、当時の思い出などをお話しいただいた。	中学生以上	無料 観覧券 必要(当日 以外の半 券でも可)	30	118	27
ピーター・シス展	動画配信による講演会	11月2日(火)から公開	柴田 元幸 (アメリカ文学研究者・翻訳家)	YouTubeでの配信				(視聴数) 1919	
香月泰男展	香月泰男とふるさと三隅【中止】	2月6日(日) 14:00～15:30	丸尾いと (香月泰男美術館 学芸員)		中学生以上	無料 観覧券 必要(当日 以外の半 券でも可)	30		
香月泰男展	香月泰男とわたし【中止】	2月26日(土) 14:00～15:00	野見山暁治 (画家)		中学生以上		30		
香月泰男展	動画配信による講演会 香月泰男×野見山暁治～ぼくだけが知っている香月泰男～	3月4日(金)から公開	野見山暁治 (画家)	YouTubeでの配信				(視聴数) 1286	
							118	27	
計3回 参加者延27名 中止2回									

コンサート・ライブパフォーマンス

事業名	日程	出演	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
							0	0
計0回 参加者延0名								

鑑賞プログラム

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
8つの意表展	トコトコ美術館 vol.35「かあ」【A】 中止	5月22日(土) 10:30～12:00	眞子 みほ (当館学芸員)		3～6歳の 未就学児 +保護者 (子ども 1～2名 +保護者1名)	無料 保護者 は当日の 観覧券が 必要	各回 5組	
	トコトコ美術館 vol.35「かあ」【B】 中止	5月22日(土) 14:00～15:30						
	トコトコ美術館 vol.35「かあ」【C】 中止	5月23日(日) 10:30～12:00						
	トコトコ美術館 vol.35「かあ」【D】 中止	5月23日(日) 14:00～15:30						

馬場のぼる展	トコトコ美術館 vol.36「ねこ」[A]	7月30日(金) 10:30～12:00	眞子 みほ (当館学芸員)	『11ぴきのねことあほうどり』 を読み聞かせた後、ねこ が印刷されたカードで同じ ものを会場の作品から探す ゲーム、最後に多色紙版を 行った。	3～6歳の 未就学児 +保護者 (子ども 1～2名 +保護者1名)	無料 保護者 は当日の 観覧券が 必要	各回 5組	52組 116名	5組 11名
	トコトコ美術館 vol.36「ねこ」[B]	7月30日(金) 14:00～15:30						20組 50名	5組 10名
	トコトコ美術館 vol.36「ねこ」[C]	7月31日(土) 10:30～12:00						51組 111名	5組 10名
	トコトコ美術館 vol.36「ねこ」[D]	7月31日(土) 14:00～15:30						42組 87名	5組 10名
	トコトコ美術館 vol.36「ねこ」[E]	7月31日(土) 16:30～18:00						補欠から	5組 11名
	あかちゃんと家族 の鑑賞会[A]	8月8日(日) 10:30～11:30						62組 187名	4組 10名
	あかちゃんと家族 の鑑賞会[B]	8月8日(日) 13:30～14:30						18組 51名	2組 5名
	あかちゃんと家族 の鑑賞会[C]	8月8日(日) 15:30～16:30						補欠から	4組 11名
ピーター・シス展	トコトコ美術館 vol.37「かぎ」[A]	10月16日(土) 10:30～12:00	眞子 みほ (当館学芸員)	『3つの鍵』を読み聞かせた のち展示室で鍵の絵を探し、 薄い金属板に模様をつ け、好きな形にくりぬいたも のを親子で交換しはめ込ん だお互いがカギになる チャームを制作した。	3～6歳の 未就学児 +保護者 (子ども 1～2名 +保護者1名)	無料 保護者 は当日の 観覧券が 必要	各回 5組	7組 16名	4組 8名
	トコトコ美術館 vol.37「かぎ」[B]	10月16日(土) 14:00～15:30						6組 12名	4組 8名
	トコトコ美術館 vol.37「かぎ」[C]	10月17日(日) 10:30～12:00						14組 33名	4組 9名
	トコトコ美術館 vol.37「かぎ」[D]	10月17日(日) 14:00～15:30						12組 28名	5組 10名
	あかちゃんと家族 の鑑賞会[A]	10月23日(土) 10:30～11:30						15組 48名	3組 10名
	あかちゃんと家族 の鑑賞会[B]	10月23日(土) 13:30～14:30						13組 39名	3組 9名
	拡大！美術館 vol.1「かぎ」[A]	10月24日(日) 10:30～12:30						25組 34名	8組 10名
	拡大！美術館 vol.1「かぎ」[B]	10月24日(日) 14:00～16:00						20組 26名	8組 10名
小林清親展	トコトコ美術館 vol.38「かげ」[A]	12月11日(土) 10:30～12:00	眞子 みほ (当館学芸員)	展示室で影の絵を探した 後、きうちかつ『やさいのお なか』を読み聞かせ、創作 室では様々な道具にライト を当て影を白画用紙に写し 取り、それらをカットして黒 画用紙にレイアウトした影の 絵を作った。	3～6歳の 未就学児 +保護者 (子ども 1～2名 +保護者1名)	無料 保護者 は当日の 観覧券が 必要	各回 5組	8組 17名	5組 10名
	トコトコ美術館 vol.38「かげ」[B]	12月11日(土) 14:00～15:30						5組 11名	5組 10名
	トコトコ美術館 vol.38「かげ」[C]	12月12日(日) 10:30～12:00						10組 21名	5組 11名
	トコトコ美術館 vol.38「かげ」[D]	12月12日(日) 14:00～15:30						4組 8名	5組 10名
	拡大！美術館 vol.2「かげ」[A]	12月26日(日) 10:30～12:30						11組 13名	7組 9名
	拡大！美術館 vol.2「かげ」[B]	12月26日(日) 14:00～16:00						6組 7名	4組 4名

香月泰男展	あかちゃんと家族の鑑賞会 [A]	2月20日(日) 10:30 ~ 11:30	眞子 みほ (当館学芸員)	一部屋毎家族で自由に鑑賞し、創作室に戻って赤ちゃんがどんな様子だったか報告。最後に墨で遊んだ。	0 ~ 2歳の乳幼児とその家族	無料保護者は当日の観覧券が必要	各回 10名	13組 37名	3組 9名
	あかちゃんと家族の鑑賞会 [B]	2月20日(日) 13:30 ~ 14:30						4組 10名	2組 5名
	トコトコ美術館 vol.39「黒」 [A]	3月5日(土) 10:30 ~ 12:00		絵の中にある黒いものを探し、「はなをくんくん」を読み聞かせ、黒だけの描画材やカラージュモチーフで黒い絵を作った。	3 ~ 6歳の未就学児 + 保護者 (子ども1 ~ 2名 + 保護者1名)		各回 5組	9組 20名	5組 12名
	トコトコ美術館 vol.39「黒」 [B]	3月5日(土) 14:00 ~ 15:30						7組 14名	4組 8名
	トコトコ美術館 vol.39「黒」 [C]	3月6日(日) 10:30 ~ 12:00						17組 36名	5組 10名
	トコトコ美術館 vol.39「黒」 [D]	3月6日(日) 14:00 ~ 15:30						8組 18名	5組 10名
								1050名	261名
								計28回 参加者延260名 中止4回	

託児サービス

事業名	日程	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
ピーター・リス展	10月8日(金) 11:15 ~ 12:20	6か月以上の未就学児を預り、ゆっくり美術鑑賞を楽しんでいただいた。	練馬区立美術館の利用者	無料 観覧券 必要	-	-	2組 4名	
							-	4名
							計1回 参加者延4名	

) ネリピラボ(自分の好きな材料で好きなものを作る実験室)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
ネリピラボ 「好きな材料で自由に造る/描く! 実験室(ラボ)」	2月13日(日) 10:30 ~ 16:00	中澤 季絵 (イラストレーター) 西村 有未 (画家) 眞子 みほ (当館学芸員)	時間内のどこから参加しても何を作ってもよい実験室。創作室にある材料・道具を自由に使い、各自好きなものを作って過ごした。	小中学生	1,500円 (材料費 + 保険料)	15	56	13
	2月27日(日) 10:30 ~ 16:00							9
	3月13日(日) 10:30 ~ 16:00							7
							56	29
							計3回 参加者延29名	

) 施設等紹介事業(施設や所蔵作品から美術館を知るプログラム)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
美術館をつかまえる! ?館内探検とフロッタージュ [A]	8月13日(金) 10:30 ~ 12:00	眞子 みほ (当館学芸員)	美術館の搬入口、収蔵庫前などの様々な場所のぼこぼこざらざらに紙を当てて、色鉛筆で模様をこすり出した。その後創作室で紙を毛糸で綴じ、美術館の採集本を作って持ち帰った。	5歳 ~ 小学2年生	無料	各回 5名	76	5
美術館をつかまえる! ?館内探検とフロッタージュ [B]	8月13日(金) 14:00 ~ 15:30						41	3
美術館をつかまえる! ?館内探検とフロッタージュ [C]	8月14日(土) 10:30 ~ 12:00						55	5
美術館をつかまえる! ?館内探検とフロッタージュ [D]	8月14日(土) 14:00 ~ 15:30						34	4
							206	17
							計4回 参加者延17名	

事業計49回 参加者延490名 中止6回

学校関連事業

)スクールプログラム

美術館の施設および展覧会を学校教育の学習に活用してもらうため、以下のプログラムを用意し、実施した。

団体鑑賞

展覧会	日程	内容	学校名	生徒数	引率	
ピーター・シス展	10月9日(土) 11:00~12:00	事前レクチャーを受け、来館時に展覧会構成を振り返り、各自自由鑑賞とした。 担当は質問に答えられるよう展示室内を巡回した。	山崎学園富士見中学高等学校 ・中学1年生竹組	40	2	
	10月12日(火) 10:00~11:00		山崎学園富士見中学高等学校 ・中学1年生桃組	36	2	
	10月12日(火) 11:00~12:00		山崎学園富士見中学高等学校 ・中学1年生桜組	37	2	
	10月13日(水) 13:30~14:30		山崎学園富士見中学高等学校 ・中学1年生菊組	40	2	
	10月14日(木) 10:00~11:00		山崎学園富士見中学高等学校 ・中学1年生梅組	39	2	
	10月19日(火) 11:00~12:00		山崎学園富士見中学高等学校 ・中学2年生梅組	38	1	
	10月19日(火) 13:30~14:30		山崎学園富士見中学高等学校 ・中学1年生竹組	38	1	
	10月20日(水) 10:00~11:00		山崎学園富士見中学高等学校 ・中学1年生菊組	39	1	
	10月20日(水) 11:00~12:00		山崎学園富士見中学高等学校 ・中学1年生桃組	40	1	
	10月21日(木) 13:30~14:30		山崎学園富士見中学高等学校 ・中学1年生松組	37	1	
	10月22日(金) 10:00~11:00		山崎学園富士見中学高等学校 ・中学1年生松組	40	2	
	10月22日(金) 11:00~12:00		山崎学園富士見中学高等学校 ・中学1年生桜組	40	1	
	10月20日(水) 14:40~17:00		展覧会の解説ののち自由観覧とした。	日本大学芸術学部美術学科版画専攻	35	3
	11月5日(金) 10:00~10:40		バックヤード見学と展覧会鑑賞をクラスごと20分ずつ交互に行った。 展覧会は事前授業を受け自由鑑賞とした。 (事前授業は10月25・27・28日に出張プログラムとして実施)	練馬区立中村小学校・5年4組	335	16
	11月5日(金) 10:40~11:20			練馬区立中村小学校・5年1・2組		
11月5日(金) 11:20~12:00	練馬区立中村小学校・5年3・5組					
11月9日(火) 10:00~10:40	練馬区立中村小学校・6年1・2組					
11月9日(火) 10:40~11:20	練馬区立中村小学校・6年3・4組					
11月9日(火) 11:20~12:00	練馬区立中村小学校・6年5組					
小林清親展	1月25日(火) 10:00~11:00	展覧会の話をした後各クラス交互にバックヤードと展示室を見学した。	練馬区立石神井東小学校・4年生	69	3	
香月泰男展	2月25日(金) 13:30~15:30	それぞれのクラスが交互に展覧会の説明、展覧会鑑賞、バックヤード見学を行った。	東京学芸大学付属国際中等教育学校 ・2年生	120	4	
	3月25日(金) 10:00~12:30	展覧会の紹介をした後バックヤード見学をし、展覧会を自由観覧した。	自由学園初等部・6年生	22	3	
				1045	47	
計22回 延1092名						

施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する。

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	引率
施設見学	8月3日(火) 11:00~12:00	バックヤードの見学及び展示室の設備などの解説を行った。	早稲田大学・博物館実習履修生	5	0
施設見学	10月30日(土) 10:30~12:00	バックヤードの見学及び展示室の設備などの解説を行った。	武蔵大学・博物館資料保存履修生	22	1
施設見学	11月11日(木) 13:00~14:00	晴天中止	和光市立第五小学校・2年生		
施設見学	11月26日(金) 12:00~12:15	ロビーで質問を受けた。	練馬区立豊玉中学校・1年生	4	1
施設見学	12月8日(水) 9:10~10:10	3階展示室(空き)で質問を受けた後、バックヤードと展示室を見学した。	練馬区立練馬第二小学校・2年2組	35	2
施設見学	12月8日(水) 10:20~11:20		練馬区立練馬第二小学校・2年1組	35	2
施設見学	12月16日(木) 11:00~12:00	晴天中止	練馬区立春日小学校・3年生		
施設見学	12月14日(火)	コロナ中止	東京都立石神井特別支援学校		
施設見学	12月25日(土) 14:00~15:00	バックヤードの見学及び展示室の設備などの解説を行った。	東洋美術学校・博物館展示論履修生	9	0
施設見学	1月9日(日) 13:30~15:00	バックヤードの見学及び展示室の設備などの解説を行った。	目白大学・学芸員過程	12	2
施設見学	1月18日(火) 10:00~11:00	区民ギャラリーで話をした後各クラスに分かれてバックヤード、展示室、美術の森緑地を見学した。	練馬区立開進第四小学校・3年生	103	8
施設見学	1月27日(木) 9:30~10:15	コロナ中止	練馬区立橋戸小学校・3年生		
				225	16
計8回 延241名					

職場体験・訪問 受付や監視、事務、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える。

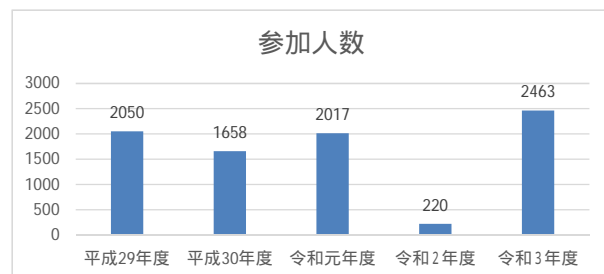
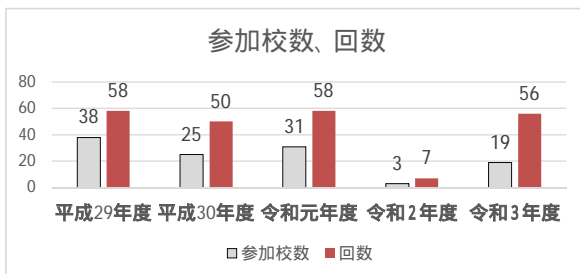
コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数
職場体験	10月13日(水)・14日(木)9:30~15:00	10月6日(水)15:30~	練馬区立光が丘第二中学校・2年生	3
職場訪問	10月28日(木)15:00~16:00		練馬区立関中学校・2年生	3
職場体験	11月10日(水)・11日(木)9:30~12:30	11月5日(金)15:00~	練馬区立開進第二中学校・2年生	4
				10
計3回 延10名				

出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをした。

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	教員
出張プログラム	7月14日(水) 8:50~9:35	馬場のぼるの紹介の後、馬場の著書『誰でもかける三分間マンガ』を見せ馬場の考える感情を表す「マンガ」について話した。その後、ねこの輪郭と、感情を表すセリフが書かれた用紙をランダムに配り、セリフに合う目、鼻、口、ヒゲを描き込んだ。	練馬区立練馬第三小学校・6年1組	119	1
	7月14日(水) 9:40~10:25		練馬区立練馬第三小学校・5年2組		
	7月14日(水) 10:45~11:30		練馬区立練馬第三小学校・6年2組		
	7月14日(水) 11:35~12:20		練馬区立練馬第三小学校・5年1組・かしわ学級		

出張プログラム	10月6日(水) 10:50~11:40	所蔵作品カードから2点以上選び、それらを自由に組み合わせ模写作品を描いた。	山崎学園富士見中学高等学校・中学1年生	478	1
	10月13日(水) 9:50~10:40		山崎学園富士見中学高等学校・中学2年生		1
	10月25日(月) 8:40~9:25	校内図工展に向け来場者の鑑賞のきっかけになるような設問作りを行う。授業ではその導入として2作品を皆で観賞し、問いかけに答える体験をし、最後に班ごと設問作りに取り組んだ。	練馬区立富士見台小学校・6年生1組	96	1
	10月25日(月) 9:30~10:15		練馬区立富士見台小学校・6年生2組		1
	10月25日(月) 10:35~11:20		練馬区立富士見台小学校・6年生3組		1
	10月25日(月) 13:15~14:00	美術館とシス展の話をしたあとで絵本「かべ」の自転車で空を飛ぶシーンをもとに、学校が作成したワークシートに各自が自身の羽根を描いた。	練馬区立中村小学校・6年5組	318	1
	10月25日(月) 14:05~14:50		練馬区立中村小学校・6年3組		1
	10月27日(水) 8:35~9:20		練馬区立中村小学校・6年1組		1
	10月27日(水) 9:25~10:10		練馬区立中村小学校・5年5組		1
	10月28日(木) 8:35~9:20		練馬区立中村小学校・5年2組		1
	10月27日(水) 10:30~11:15		練馬区立中村小学校・6年2組		1
	10月27日(水) 11:20~12:05		練馬区立中村小学校・6年4組		1
	10月28日(木) 9:25~10:10		練馬区立中村小学校・5年3組		1
	10月28日(木) 10:30~11:15		練馬区立中村小学校・5年4組		1
	10月28日(木) 11:20~12:05		練馬区立中村小学校・5年1組		1
	11月26日(金) 8:50~10:20	美術館紹介の後所蔵品カードから2枚を選び組み合わせ模写をした	練馬区立春日小学校5年生・1組	20	1
	11月26日(金) 10:50~12:20		練馬区立春日小学校5年生・2組	22	1
	12月9日(木) 10:50~12:20	美術館展覧会の話の後各自所像品カードを2・3枚選び展覧会企画をした	練馬区立春日小学校6年生・1組	22	1
	12月9日(木) 13:40~15:10		練馬区立春日小学校6年生・2組	22	1
					1097
				計23回 延1120名	

スクールプログラム 計19校56回 参加児童・生徒・学生 延2463名



）ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

展覧会名	日程	参加人数
馬場のぼる展	7月27日(火) 15:30~	25
ピーター・シズ展	9月28日(火) 15:30~	19
小林清親展	11月30日(火) 15:30~	7
香月泰男展	2月22日(火) 15:30~	4
		55
計4回 延55名		

）スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)の貸し出しを行う。

これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成したもの。

貸し出し なし

その他

）団体鑑賞(一般)

受入日	学校・団体名	参加者
実施なし		
		0
計0回 延0名		

）インターン等受入

受入日	学校・団体名	人数
8月3日(火)・5日(木)・6日(金) 9:30~16:30	小平市立小平第七小学校教諭	1
計1回 延1名		

令和3年度 博物館実習受入実績

実習実施期間

令和3年9月9日(木)～15日(水) 全5日間

9月12日、13日を除く

No	大学名	学部等	人数
1	実践女子大学	文学部 美学美術史学科	1名
2	跡見学園女子大学	文学部 人文学科	1名
3	東京成徳大学	人文学科 日本伝統文化学科	1名
4	多摩美術大学	美術学部 絵画学科 油絵専攻	1名
5	武蔵野美術大学	視覚伝達デザイン学科	1名
6	立教大学	文学部 史学科	1名
7	大東文化大学	国際関係学部 国際文化学科	1名
8	東京大学	文学部 人文学科 美学芸術学 専修課程	1名
9	東京工芸大学	芸術学部 映像学科	1名
合		計	9名

(前年度11名)

令和3年度 美術館サポーター(ボランティア)活動実績

「美術館サポーター」は、平成17年8月からスタートしたボランティア活動(1年更新)で、美術館事業の一部(チラシ発送作業・新聞資料作成・イベントの手伝い等)を担ってもらうボランティア活動である。

令和3年度は総勢26名のサポーターが各展覧会の事業補助や新聞切抜き作業などに従事している。

サポーター活動の実績

令和3年4月～令和4年3月

展覧会等	活動内容	活動日数	延べ人数
練馬区民美術展	会場整理等イベント補助	3日	21名
新聞切り抜き資料作成		15日	124名
合 計		18日	145名

(令和2年度 28日 延204名)

(3) 美術作品の収集事業

令和3年度 美術作品の収蔵状況

(令和4年3月31日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
S59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
H1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1					1				6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3	191	191	
23		8		13								1		123	145	145	
24		32		10		33									75	75	
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2084	1	2756	2757
27		5		97		112		25						18	0	257	257
28		25		22												47	47
29															0	0	0
30		5		11		25								15		56	56
R1		1		2				16				3		28		50	50
2		1		12		1						17		6		37	37
3				62		1						3		30		96	96
合計	31	301	190	1515	75	912	1	48	0	1	1	67	1	2640	299	5484	5783

令和4年3月31日現在
寄託作品 1,859 点

購入・寄贈・寄託計 7,642点

令和3年度練馬区立美術館寄贈寄贈・寄託等リスト

(1)購入作品 なし

(2)寄贈作品 96点

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	太齋春夫	度量衡省(台湾)風景	制作年不詳	漆絵、板	30.5×46.2
2	太齋春夫	風景	制作年不詳	漆絵、板	45.5×53.0
3	野見山暁治	自画像	1937年	油彩・板	22.8×16.0
4	野見山暁治	渋谷風景	1938年	油彩・キャンバス	45.1×52.7
5	野見山暁治	札幌の冬	1939年	油彩・キャンバス	45.5×52.8
6	野見山暁治	糸満	1940年	油彩・キャンバス	38.0×45.0
7	野見山暁治	千曲川近く	1942年	油彩・キャンバス	53.0×65.5
8	野見山暁治	太海	1942年	油彩・キャンバス	32.4×44.9
9	野見山暁治	千曲川べり	1942年	油彩・キャンバス	50.2×60.8
10	野見山暁治	佐野の道	1943年	油彩・キャンバス	91.1×73.0
11	野見山暁治	栃木	1943年	油彩・キャンバス	52.6×65.0
12	野見山暁治	骸骨	1947年	油彩・キャンバス	45.4×53.0
13	野見山暁治	横向きの頭蓋骨	1947年	油彩・板	24.0×33.0
14	野見山暁治	骸骨	1947年	油彩・キャンバス	45.5×53.0
15	野見山暁治	高島平	1948年	油彩・キャンバス	41.0×53.3
16	野見山暁治	花と骸骨	1948年頃	油彩・キャンバス	53.4×65.4
17	野見山暁治	肖像	1949年	油彩・キャンバス	64.8×50.0
18	野見山暁治	静物(牛骨)	1949年	油彩・キャンバス	100.4×73.3
19	野見山暁治	横浜郊外	1949年頃	油彩・キャンバス	41.5×52.5
20	野見山暁治	横浜	1949年頃	油彩・板	24.1×33.4
21	野見山暁治	街はずれ	1949年頃	油彩・キャンバス	45.5×53.0
22	野見山暁治	青年像	1949年頃	油彩・キャンバス	45.6×38.5
23	野見山暁治	崖のある街	1950年	油彩・キャンバス	60.8×72.8
24	野見山暁治	代官山風景	1950年頃	油彩・キャンバス	53.0×65.0
25	野見山暁治	廃坑(D)	1951年	油彩・キャンバス	73.0×90.9
26	野見山暁治	坑内	1952年	油彩・キャンバス	72.5×72.3
27	野見山暁治	小樽	1952年	油彩・キャンバス	60.5×72.5
28	野見山暁治	セーヌ川	1955年	油彩・キャンバス	24.2×33.0
29	野見山暁治	男	1959年	油彩・キャンバス	92.0×73.0
30	野見山暁治	青い景色	1963-64年	油彩・キャンバス	97.5×130.5

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
3 1	野見山暁治	森	1969年	油彩・キャンバス	73.0×91.1
3 2	野見山暁治	知らない季節	1970年	油彩・キャンバス	130.0×162.5
3 3	野見山暁治	海坊主誕生	1978年	油彩・キャンバス	91.0×72.8
3 4	野見山暁治	海坊主	1978年	油彩・キャンバス	91.0×73.0
3 5	野見山暁治	浮かぶもの	1979年頃	油彩・キャンバス	53.0×65.3
3 6	野見山暁治	みんな空	1982年	油彩・キャンバス	130.2×194.0
3 7	野見山暁治	地	1982年	油彩・キャンバス	72.7×91.0
3 8	野見山暁治	刻	1982年	油彩・キャンバス	73.0×91.2
3 9	野見山暁治	丘	1982年	油彩・キャンバス	72.5×72.7
4 0	野見山暁治	ホリデイ	1986年	油彩・キャンバス	97.3×130.5
4 1	野見山暁治	終日	1986年	油彩・キャンバス	97.2×130.4
4 2	野見山暁治	明日へ(3枚組)	1988年	油彩・キャンバス	364.2×150.5
4 3	野見山暁治	川	1988年	油彩・キャンバス	130.5×194.5
4 4	野見山暁治	旅の果て	1988年	油彩・キャンバス	162.5×194.0
4 5	野見山暁治	今に伝わる話	1988年	油彩・キャンバス	65.4×80.5
4 6	野見山暁治	部屋の中の海	1990年	油彩・キャンバス	131.5×162.0
4 7	野見山暁治	ある現場	1992年	油彩・キャンバス	182.5×228.0
4 8	野見山暁治	黄色い部屋	1993年	油彩・キャンバス	194.2×194.5
4 9	野見山暁治	岬の日記	1996年	油彩・キャンバス	182.0×228.0
5 0	野見山暁治	もう時間がない	1999年	油彩・キャンバス	227.5×145.5
5 1	野見山暁治	そら耳	1999年	油彩・キャンバス	196.0×196.5
5 2	野見山暁治	見送った景色	2000年	油彩・キャンバス	182.0×228.0
5 3	野見山暁治	三日過ぎた	2001年頃	油彩・キャンバス	130.5×194.0
5 4	野見山暁治	昔のこと	2002年	油彩・キャンバス	182.5×228.0
5 5	野見山暁治	幕間	2003年	油彩・キャンバス	194.0×194.0
5 6	野見山暁治	もっと遠く	2004年	油彩・キャンバス	194.0×131.0
5 7	野見山暁治	どこまでも夏	2005年	油彩・キャンバス	181.5×227.5
5 8	野見山暁治	みんな遠くなった	2007年	油彩・キャンバス	194.0×130.5
5 9	野見山暁治	思い出すこともない	2008年頃	油彩・キャンバス	194.0×130.5
6 0	野見山暁治	遠い海から	2009年	油彩・キャンバス	95.5×259.0
6 1	野見山暁治	遠い空から	2009年	油彩・キャンバス	95.5×258.5
6 2	長根翠	藤田嗣治練馬アトリエ	不明	油彩・キャンバス	61.0×50.8

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
6 3	大沢 三之助	日光含満(憾満ガ淵)	1890年	水彩・紙	32.5×25.1
6 4	大沢 三之助	小田代ヶ原	1892年	水彩・紙	21.5×29.7
6 5	大沢 三之助	夏日	1892年	水彩・紙	25.0×21.5
6 6	大沢 三之助	柴刈		水彩・紙	26.1×19.0
6 7	大沢 三之助	雨		水彩・紙	21.0×14.1
6 8	大沢 三之助	日光中禅寺湖之景		鉛筆、水彩・紙	19.0×26.5
6 9	大沢 三之助	秋		水彩・紙	20.0×23.3
7 0	大沢 三之助	富士遠望		水彩・紙	21.2×30.3
7 1	大沢 三之助	風景 素描		コンテ・紙	14.6×19.1
7 2	大沢 三之助	英国婦人 素描	1908年(明治41)4月	鉛筆・紙	35.8×25.5
7 3	大沢 三之助	少女 素描 1 (オンスロー・スタジオにて)	1908年(明治41)12月13日	鉛筆・紙	35.5×25.4
7 4	大沢 三之助	少女 素描 2 (オンスロー・スタジオにて)	1908年(明治41)12月13日	鉛筆・紙	35.5×25.4
7 5	大沢 三之助	水面		水墨・紙	26.7×26.0
7 6	大沢 三之助	里山 素描		鉛筆・紙	14.2×19.2
7 7	大沢 三之助	池畔		水彩・紙	23.8×32.5
7 8	大沢 三之助	寒緋桜		水彩・紙	19.1×14.7
7 9	大沢 三之助	椿花	1889年	水彩・紙	19.0×28.2
8 0	大沢 昌助	びわ	1922年6月25日	水彩・紙	17.3×26.7
8 1	大沢 昌助	湖畔の夕	1921年8月27日	水彩・紙	25.2×33.0
8 2	大沢 昌助	厨房静物	1920年7月4日	水彩・紙	23.1×30.2
8 3	大沢 昌助	盆と水差し	1922年	水彩・紙	24.0×33.0
8 4	大沢 昌助	水浴の少年習作		水彩・紙	26.0×19.8
8 5	高山良策	題不詳	1962年	鉛筆・紙	18.0×25.7
8 6	高山良策	鳥と人	1963年	鉛筆・紙	27.7×35.2
8 7	中村忠二	黒潮集	1964年	モノタイプ・紙	各19.0×27.0
8 8	秋山祐徳太子	東京都知事立候補ポスター	1975年	印刷、紙	36.1×25.7
8 9	秋山祐徳太子	東京都知事立候補ポスター	1979年	印刷、紙	40×30
9 0	秋山祐徳太子	東京都知事立候補ポスター	1979年	印刷、紙	42×39.2
9 1	秋山祐徳太子	東京都知事選挙運動用葉書	1975年	印刷、紙	14.8×10.0
9 2	寺田真由美	curtain010401	2001年	紙・ゼラチン・シルバー・プリント	50.8×61.0
9 3	寺田真由美	exam table with hibiscus140401	2014年	紙・ゼラチン・シルバー・プリント	50.8×61.0
9 4	高山良策	面	制作年不詳	FRP	31.5×23.0×6.7
9 5	高山良策	人形	制作年不詳	紙粘土	27.0×14.0

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
96	堀内正和	片側局面直角六边形B	1963年	ブロンズ	56.0×40.0×30.0

(3)寄贈資料 なし

(4)寄託作品 9点

1	藤島 武二	菊(湖畔静物)	1928年	油彩、キャンバス	98.5×91.0
2	岡田 三郎助	池の平	1920年	油彩、キャンバス	51.7×64.0
3	牧野 虎雄	南方の風景		油彩、キャンバス	59.0×89.3(窓)
4	田辺 三重松	三月の雪山	1954年	油彩、キャンバス	72.5×92.5
5	深谷 徹	桜島		油彩、キャンバス	30.3×39.3
6	中村 善策	千頭寸又峡		油彩、キャンバス	70.7×58.8
7	野口彌太郎	鳥海山	1950年	油彩、キャンバス	50.0×60.8
8	三岸 節子	花と魚	1952年	油彩、キャンバス	60.5×91.7
9	館岡 栗山	山谷		絹本着色	40.8×44.5

(5)寄託資料 なし

(6)その他 なし

令和3年度 収蔵品貸出一覧

5施設の展覧会に、計8作品の貸し出しを行った。

	貸出施設	展覧会名	会期	貸出作品
1	池田20世紀美術館	久野和洋の世界展	6月24日～10月12日	久野和洋(地の風景・かたすみ) (DUOMO(大聖堂)が見える) ジオット作(アッシジの聖フランチェスコ)ブレデッラの模写 (ノルマンディの教会)
2	茨城県近代美術館	上田薫とリアルな絵画	10月26日～12月12日	高松次郎(影)
3	東京国立近代美術館	没後50年 鎚木清方	3月18日～5月8日	鎚木清方 朧賀籠 (寄託作品)
4	笠岡市竹喬美術館	歴史を旅する 谷口香嶠展	10月23日～12月5日	谷口香嶠(屈原図)
5	名古屋市博物館	大雅と蕪村	12月4日～1月30日	池大雅(比叡山真景図)

令和3年度美術館収蔵品データベースに対する反響

当館ホームページでは企画展の見どころや教育普及事業の情報などを随時公開しており、多くの方に利用いただいている。

また収蔵品についても平成17年にデジタルデータ化し、学校教育や生涯学習等、利用機会の拡充を行った。平成24年にはデータベースを新システムに更新し、常時インターネットより7,000点に及ぶ当館収蔵品を検索・閲覧可能とした。

令和3年度の収蔵品データベースへのアクセス件数

	データベース(件)
4月	728件
5月	860件
6月	609件
7月	817件
8月	556件
9月	830件
10月	862件
11月	738件
12月	780件
1月	1,515件
2月	1,155件
3月	935件
合計	10,385件
平均	865件/月
(令和2年度)	(7,138件)

(4) 施設利用状況

令和3年度 施設利用状況

展示室

区 分	展覧会 回 数	利用日数 (日)	観覧者数 (人)	利用可能日数 (日)	利用率 (%)
一般展示室	28	144	11,019	222	64.9
企画展示室	5	21	2,947	34	61.8
合計	33	165	13,966	256	64.5
(令和2年度)	26	135	10,093	191	70.7

創作室

利用団体	利用件数(件)	月平均 件数(件)	利用人数 (人)	利用可能件数 (件)	利用率 (%)
9	183	15	2,714	338	54.1
(令和2年度)	188	16	2,726	352	53.4

施設申込状況

区 分		年度総件数	月平均件数	倍 率
一般展示室	申込	34	2.8	最高 2倍 平均 1.21倍
	当選	28	2.3	
企画展示室	申込	3	-	12月の一部貸出 倍率 1.5倍
	当選	2	-	

展示室の抽選は利用日の6ヶ月前

(5) 広報活動と反響

8つの意表展

令和3年6月1日～6月20日（当初会期4月20日～6月20日）

<p>< 新聞 ></p>	
📄 記事	📄 一覧
なし	毎日新聞 4月23日、30日 5月7日、14日、21日、28日 6月4日、11日、18日 朝日新聞 4月27日 夕刊 東京新聞 5月5日 朝刊 新美術新聞 4月26日 東洋経済日報 4月30日
<p>< 雑誌 ></p>	
トーキングヘッズ叢書 No86 4月28日 東京かわら版 5月28日	
<p>< 会員誌、フリーペーパー等 ></p>	
カンフェティ Vol.196 4月5日	
<p>< WEB ></p>	
OBIKAKE アートアジェンダ ジーエーピー Share Art Tokyo Live & Exhibits MIRAI～ちょっと先のミライを探しに行こう インターネットミュージアム 個展なび artscape 今見られる全国のおすすめ展覧会 100	
<p>< その他 ></p>	
練馬区報 4月21日号 ねりまほっとライン 貫井図書館だより R3.5月号（Vol48） 練馬区公式ツイッター	

馬場のぼる展

令和3年7月25日～9月12日

<新聞>	
📄記事	河北新報 8月29日
読売新聞 6月28日	朝日新聞夕刊 8月30日
東武よみうり新聞 7月13日	朝日小学生新聞 8月4日
タブロイド新聞「はいから est」 7月19日	東京新聞 9月1日
東奥日報 7月21日	読売新聞 9月3日
陸奥新報 7月25日	
毎日新聞 7月23日	📄一覧
東洋経済日報 8月6日	朝日新聞 金曜夕刊マリオン欄
しんぶん赤旗 8月20日	日本経済新聞夕刊 8月5日
<雑誌>	
週刊大衆 5月17日	懸賞なび 7月21日
月刊MOE 7月2日、8月3日	アートコレクターズ 7月26日
美術屋百兵衛 7月15日	anan 8月4日
anan 7月28日	ozマガジン 8月11日
月刊「美術の窓」 7月20日	BRUTUS 9月1日
	東京かわら版 6月28日
<会員誌、フリーペーパー等>	
月間Kacce 6月1日	定年時代 7月5日
月刊モルゲン 6月2日	ZENBI 7月15日
カンフェティ 6月7日	季刊誌「はいから」 7月1日
asacoco 6月17日	ぼる新宿ニュース7月号
	こどもの図書館 8月10日
<WEB>	
美術展ナビ(読売新聞)	子どもとおでかけ情報サイト「いこーよ」/「いこれぽ」
ジーエーピーHP	ぴあアプリ
OBIKAKE	Club off Alliance(クラブ オフ アライアンス)
アートアジェンダ	artscape
MIRAI～ちょっと先のミライを探しに行こう	Fasu(ふあす)
シェア・アート	日本美術倶楽部
Tokyo Live&Exhibits	
ギャラリーガイドネット	
個展なび	
kodomoe ウェブサイト	
アート情報サイト「hibiA」	

< その他 >

NHK (テレビ) おはよう日本 7月16日
ゆうがた5 (調布エフエム放送) 7月13日
共同通信 (地方紙向け記事配信) 7月16日
朝日こども新聞LINEニュース
J-WAVE (FMラジオ) 8月24日
ねりま区報 7月21日号
ねりまほっとライン 7月・8月
練馬区公式 Facebook
練馬区ホームページ


< 広告 >

京王電鉄駅貼り広告 (新宿駅、明大前駅)
Instagram、Facebook、Twitter 広告

ピーター・シス展

令和3年9月23日～11月14日

< 新聞 >

 記事

陸奥新報 9月19日
毎日新聞 10月4日

 一覧

読売新聞
朝日新聞夕刊 8月27日
東洋経済日報 9月10日
東京新聞 9月15日
朝日新聞夕刊 9月21日
毎日新聞 10月4日

< 雑誌 >

月刊クーヨン 10月号	anan 9月22日
懸賞なび 10月号	装苑 11月号
月刊MOE 12月号	GINZA 11月号
東京かわら版 9月号	週刊大衆 10月18日
GAMO NEES	

< 会員誌、フリーペーパー等 >

月刊 Kacce 9月号
カンフェティ 9月号

< WEB >

アートアジェンダ	Numero.jp
G-Call	ウェブ版美術手帖
アート情報サイト「hibiA」	美術展ナビ
MIRAI ~ ちょっと先のミライを探しに行こう	青い日記帳
株式会社 ShareArt	やまねこ翻訳クラブ HP
Quintessentially News Letter	あるくあるける MAP&NEWS
個展なび	ぴあポイントサイト
ぴあアプリ	Web 太陽
美術手帖	FASHION PRESS
Tokyo Live & Exhibits	コンフォルトウェブマガジン
美術館情報サイト OBIKAKE	
インターネットミュージアム	
アートステッカー	
スフマート	
星の王子さまミュージアムツイッター	

< その他 >

ぱる新宿ニュース
博物館研究 9月号
ねりま区報 9月1日号
ねりまほっとライン(9月・10月)
練馬区役所庁舎内等モニター広告(10月)
練馬区公式 Facebook
練馬区ホームページ
JCOM つながる News(10/28)

< 広告 >

京王電鉄駅貼り広告(新宿駅、明大前駅、吉祥寺)
Instagram、Facebook、Twitter 広告

小林清親展

令和3年11月23日～令和4年1月30日

<p><新聞></p> <p>📄記事</p> <p>朝日新聞朝刊 1月12日</p>	<p>📄一覧</p> <p>毎日新聞 11月19日から毎週金曜日 朝日新聞夕刊 11月30日 産経新聞 1月14日</p>
<p><雑誌></p> <p>和楽 12・1月号 モストリー・クラシック 3月号</p>	<p>月刊絵手紙 1月号 月刊ギャラリー 1月号</p>
<p><WEB></p> <p>美術展ナビ Fashion Press アートアジェンダ 個展ナビ MIRAI 北斎今昔 全国浮世絵展カレンダー スフマート 美じょん新報</p>	<p>インターネットミュージアム Tokyo Live& Exhibits 今見られる全国のおすすめ展覧会 100 Web 版美術手帳 スフマート あるくあるけるMAP & NEWS 美術屋百兵衛</p>
<p><その他></p> <p>ねりま区報 11月1日号、11月21日号 ねりまほっとライン(11月16日～30日) 練馬区公式 Facebook(多文化ねりま) 練馬区ホームページ 貫井図書館・図書館だより 貫井図書館・美術パスファインダー 練馬区-学びと文化の情報サイト- J:COM「つながる News」(12/2放送)</p>	

香月泰男展

令和4年2月6日～令和4年3月27日

<p><新聞></p> <p>📄記事</p> <p>東洋経済日報 (1月中旬)</p> <p>陸奥新報 (1月16日)</p> <p>美じょん新報 (1月20日)</p> <p>新美術新聞 (1月25日)</p> <p>毎日新聞 (2月13日)</p> <p>毎日新聞(3月3日)</p> <p>東京新聞(3月8日)</p> <p>図書新聞(3月18日)</p>	<p>📄一覧</p> <p>朝日新聞(2月26日チケットプレゼントコーナー)</p> <p>東京新聞(2月16日、3月2日、16日)</p> <p>日経新聞(2月3日、3月3日)</p>
<p><雑誌></p> <p>懸賞なび (12月22日)</p> <p>月刊サライ (1月9日)</p> <p>月刊絵手紙 (1月25日)</p> <p>てんとうむし/Express (1月20日)</p> <p>アートコレクターズ (12月21日)</p> <p>美術の窓 (1月19日)</p>	<p>外交 (1月31日)</p> <p>東京かわら版 (1月28日)</p> <p>月刊江戸楽3月号 (2月20日)</p>
<p><会員誌、フリーペーパー等></p> <p>光が丘 ima'am (2月1日)</p> <p>定年時代 (1月23日)</p> <p>月刊 kacce (2月1日)</p>	
<p><WEB></p> <p>アートアジェンダ</p> <p>Fashion Press</p> <p>(株)ジーエーピー</p> <p>個展なび</p> <p>MIRAI～ちょっと先のミライを探しに行こう</p> <p>Sfumart(スフマート)</p> <p>アイエム(インターネットミュージアム)</p>	<p>じゃらんnet</p> <p>TokyoLive&Exhibits</p> <p>青い日記帳</p> <p>Mercure des Arts</p> <p>OBIKAKE</p> <p>Do well by doing good jp</p>

< その他 >

ねりま区報 1月21日号

練馬区 Facebook 1月20日

練馬区 Twitter 2月10日

ねりまほっとライン 1月16日～1月23日

庁舎内等モニター広告事業 1月31日～3月27日

みどりバス 1月21日～3月27日

貫井図書館・図書館だより

貫井図書館・美術パスファインダー

< 広告 >

京王電鉄駅貼り広告(新宿駅、明大前駅、吉祥寺)

Instagram、Facebook、Twitter

SNSフォロワー数

練馬区立美術館公式ツイッター 5,756人(令和4年3月31日現在)

2 令和4年度事業計画

(1) 展覧会事業

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月10日 6月12日 <55日間>	【有料】 「時代を映す絵画たち - コレクションにみる戦後美術の歩み -」展				毛利
6月26日 8月14日 <43日間>	【有料】 「生誕100年 朝倉撰」展				眞子
9月4日 11月3日 <52日間>	【有料】 「日本の中のマネ - 出会い、120年のイメージ -」展				小野
11月18日 11月27日 <9日間>	【無料】 第68回練馬区美術家協会展		11月18日 2月12日 <70日間>	【有料】 「平子雄一 × 練馬区立美術館 コレクション【遺産、変形、再生】」展	毛利
12月6日 1月12日 <28日間>	(一般貸出)				
1月14日 1月18日 <4日間>	中学校生徒作品展				
1月21日 1月26日 <5日間>	小学校連合図工展				
1月28日 1月29日 <2日間>	小中学校連合書きぞめ展				
2月4日 2月12日 <8日間>	【無料】 第54回練馬区民美術展				
2月26日 4月16日 <43日間>	【有料】 「本と絵画の800年 吉野石膏所蔵の貴重書と絵画コレクション」展				

「時代を映す絵画たち - コレクションにみる戦後美術の歩み - 」展 開催要項

- 1 開催趣旨 1985年に開館した練馬区立美術館は当初より美術作品の収集に取り組み、作品数は現在約5,500点、寄託作品を含めれば約7,500点に上っています。この中でも絵画作品は、日本の戦後美術の流れを語るのに欠かせない作品を含む、重要なパートとなっています。そこで今回のコレクション展では、そうした所蔵品の中から、戦後まもなく描かれた作品から近年に制作されたものまで、約35名の作家による油彩画を中心とした約70点の作品を展示し、表現の流れを振り返ります。

こうしたコレクションは、各時代の世相や思想を様々なかたちで映すものです。またそれは、開館して37年を迎える当館の歴史そのものでもあります。様々な経緯で収蔵(購入・寄贈・寄託)されてきた作品たちは、収蔵庫から展示室に移り観客の視線を受けることによって、新たにその表情を輝かせるでしょう。見られることによって何度でも繰り返す、けれどもその場だけの唯一の時間、そうした出会いを演出いたします。

出品予定作家(50音順)

浅見貴子 / 荒川修作 / 池田龍雄 / 石原友明 / 上田薫 / 大小島真木 / 大沢昌助 / 岡本唐貴 / 小野木学 / オノサト・トシノブ / 北川民次 / 北代省三 / 工藤哲巳 / 久野和洋 / 小山穂太郎 / 近藤竜男 / 佐藤敬 / 嶋田しづ / 白髪一雄 / 諏訪直樹 / 高橋秀 / 高松次郎 / 高山良策 / 辰野登恵子 / 谷川晃一 / 鶴岡政男 / 中西夏之 / 中林忠良 / 中村宏 / 難波田龍起 / 野見山暁治 / 藤松博 / 村井正誠 / 山口薫 / 山口長男 / 山田正亮

- 2 会 期 令和4年4月10日(日)～6月12日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館(公益財団法人練馬区文化振興協会)
- 4 内 容 油彩画、版画など 約70点
- 5 図 録 リーフレットを制作
- 6 観 覧 料 800円
- 7 イベント スライドトーク、ワークショップ、鑑賞プログラムを開催
- 8 観覧者数 3,232人(57.7人/日)
- 9 担 当 副館長 毛利義嗣

「生誕100年 朝倉撰」展 開催要項

- 1 開催趣旨

画家・舞台美術家として活躍した朝倉撰（1922－2014）の全貌に迫る、はじめての本格的な回顧展です。

彫刻家・朝倉文夫（1883－1964）の長女として東京・谷中に生まれた朝倉は、父の方針により独自の家庭教育を受けて育ちました。17歳のときから日本画家・伊東深木に学び、絵画の道を歩みはじめ、1940年代初頭には、モダンな人物像を洗練された色彩感覚で描き出し、若くしてその才能を認められていきます。

戦後は、創造美術を経て新制作協会日本画部に所属する中で、ピカソなど海外作家の探究にもとづいたキュビズム的な作風へと展開を見せました。また、日本が直面する社会的問題にも興味を広げ、佐藤忠良ら仲間の芸術家たちと地方の漁村や炭鉱を訪れ、労働者の生活取材した社会派の作品を次々に発表。1953年には《働く人》で上村松園賞を受賞しています。一方で、1950年代から本格的に取り組むようになった舞台美術は、朝倉の探究心をかき立てる新たなジャンルであり、1960年代後半から、しだいに絵画から舞台美術へと活動の比重を移すこととなりました。

生前、朝倉の意向もあり、日本画時代の作品が公開される機会は多くありませんでした。没後、アトリエに残された作品が各地の美術館に寄贈され、断片的だった活動をつなぐことが可能となりました。本展では、日本画だけでなく絵本の原画や挿絵の仕事も合わせ、朝倉の創作活動の全体像を紹介します。
- 2 会 期 令和4年6月26日(日)～8月14日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）、東京新聞
- 4 助 成 ポーラ美術振興財団
- 5 内 容 日本画、スケッチ、舞台美術資料、挿絵原画など 約200点
- 6 図 録 制作（青幻舎）
- 7 観 覧 料 1,000円
- 8 イベント 講演会、ギャラリートーク、ワークショップなどを開催
託児サービスを実施
- 9 観 覧 者 10,164人(236.3人/日)
- 10 担 当 学芸員 眞子みほ

「日本の中のマネ 出会い、120年のイメージ」展 開催要項

- 1 開催趣旨

19世紀フランスを代表する画家エドゥアール・マネ(1832 - 83)の日本における受容について考察する展覧会です。我が国における洋画黎明期の美術家や美術批評家たちはどのようにマネを解釈し、理解したのでしょうか。例えば、美術批評家で画家の石井柏亭は、《草上の小憩》(1904・明治37年/東京国立近代美術館)と題されたマネへのオマージュ作品を手掛けています。その他、山脇信徳、小磯良平、安井曾太郎、山本鼎、村山槐多などの作品にも、マネからの影響が見受けられます。また、医師で詩人、小説家、美術批評家の顔を持つ木下杢太郎はマネを理解することこそ、西洋近代絵画を受容する上で不可欠であると主張しました。しかしながら、これらの影響関係について断片的に指摘されることはあっても、マネ受容の全体像をまとまった形で示されたことはありません。

本展では、まず、西洋近代美術におけるマネの位置づけを確認した上で、明治から昭和初期までに見られる批評や作品を通して、日本における最初期のマネ受容について検討します。

そして、現代の日本におけるマネ受容についても考察します。森村泰昌や福田美蘭のマネ作品から着想を得た作品を通して、現代のマネ解釈を検討します。

洋画黎明期の日本におけるマネ受容から、現代の日本人アーティストのマネ解釈を踏まえ、日本におけるマネ像を探る展覧会です。
- 2 会 期 令和4年9月4日(日)～11月3日(木・祝)
- 3 主 催 練馬区立美術館(公益財団法人練馬区文化振興協会)
- 4 内 容 絵画、版画、資料など 約120点
- 5 図 録 平凡社より書籍件図録として制作
図録を補完する小冊子「番外編図録」を制作予定
- 6 観 覧 料 1,000円
- 7 イベント 講演会、スライドトーク、ワークショップなどを開催
託児サービスを実施
- 8 観覧者見込 22,880人(440人/日)
- 9 担 当 学芸員 小野寛子

「平子雄一 × 練馬区立美術館コレクション

inheritance, metamorphosis, rebirth [遺産、変形、再生]」展 開催要項

- 1 開催趣旨 本展は、練馬区在住の気鋭のアーティスト・平子雄一（1982～）と当館コレクションとのコラボレーションです。アーティスト自身の眼でコレクションの中から10点の絵画を選び、分析、解釈し、それら作品の様々な要素を自作に取り込んだ新作絵画を制作し、選んだコレクションとともに展示するというプロジェクトです。平子雄一は、植物や自然と人間の共存について、作品制作を通して探求しています。画面には植物や壺、本、身の回りの物などが色彩豊かに描きこまれ、幻想的にまたユーモアをもって見る人を惹きつけます。またそこでは樹木と人間が融合した人物が登場し、絵画の物語を軽やかに導きます。
- 本展タイトルは、美術館のコレクションという遺産（inheritance）を平子という別のアーティストが変形（metamorphosis）し、現代的な感覚のもとに再生（rebirth）させるという意味合いです。時間と空間を超えた対話的な試みであり、過去から未来につながる創造の可能性を探ります。

出品予定作家～コレクションより（50音順）

鬨光 / 小林猶治 / 佐藤多持 / 新藤繁 / 田崎廣助 / 寺田政明 / 中尾彰 / 西尾善積 / 野見山暁治 / 吉浦摩耶

- 2 会 期 令和4年11月18日（金）～令和5年2月12日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 平子雄一：大型絵画（縦3.3m 横10m）制作メモ、スケッチなど
収蔵作品：絵画10点
- 5 印刷物 パンフレットを制作
- 6 観 覧 料 300円
- 7 イベント ワークショップ、スライドトーク鑑賞プログラムなどを開催
- 8 観覧者見込 16,450人（235人/日）
- 9 担 当 副館長 毛利義嗣

「本と絵画の 800 年 吉野石膏所蔵の貴重書と絵画コレクション」展 開催要項

- 1 開催趣旨

石膏建築資材で知られる吉野石膏株式会社は 1901 年の創業以来、真に豊かな社会の構築を目指し、「物質的な豊かさ」と「精神的な豊かさ」の調和を求め、洋の東西を問わず様々な美術品の蒐集を続けてきました。更に 2008 年にはより幅広い芸術分野への貢献を志し、美術財団を設立しています。

本展ではその吉野石膏による選りすぐりのコレクションを紹介します。とりわけ、名品揃いの西洋絵画や日本絵画はよく知られていますが、アートライブラリーの充実を狙い蒐集された貴重書については、その全体像を俯瞰するはじめての機会となります。

我が国において、企業による美術コレクションは重要な位置づけを成してきました。その一角を代表する吉野石膏のコレクションから、名画と貴重書の世界を紹介します。
- 2 会 期 令和 5 年 2 月 26 日(日)～4 月 16 日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館 (公益財団法人練馬区文化振興協会)
- 4 企画協力 公益財団法人吉野石膏美術財団
- 5 内 容 油彩画、日本画、貴重書など 約 130 点
- 6 図 録 制作
- 7 観 覧 料 1,000 円
- 8 イベント 講演会などを開催
託児サービスを実施予定
- 9 観覧者見込 15,480 人(360 人／日)
- 10 担 当 学芸員 小野寛子 加藤陽介

令和4年度 教育普及事業

令和4年9月30日現在

館内事業

）展覧会関連（各展覧会を楽しむ）

関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	「時代を映す絵画たち」展 「五月の風と光を描く」 講師:浅見貴子(美術家)	5月28日(土)10:30～17:00	1	小学生以上	10名	10名
2	「生誕100年 朝倉撰」展関連 貫井図書館×美術館ワークショップ「物語から浮かぶ絵」	7月17日(日)13:30～16:30	1	中学生以上	20名	9名
3	「生誕100年 朝倉撰」展関連美術講座 「板に描く日本画 画材と技法を知る」 講師:ミヤケマイ(美術家)	7月23日(土)・24日(日) 10:30～17:00[2日制]	1	中学生以上	10名	10名
4	「平子雄一×コレクション」展関連ワークショップ 「シゼンさがし キャンパスにアクリル画を描こう」 講師:平子雄一(美術作家)	12月3日(土)10:30～17:00	1	小学4年生以上	10名	

ギャラリートーク・スライドトーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	「時代を映す絵画たち」展	5月14日(土)14:00～14:20 6月4日(土)14:00～14:20	2		各回 30名	9名 20名
2	「生誕100年 朝倉撰」展	7月8日(金)15:00～15:20 8月12日(金)15:00～15:20	2		各回 20名	21名 22名
3	「日本の中のエドゥアール・マネ」展	9月16日(金)15:00～15:20 10月12日(水)11:00～11:20	2		各回 40名	34名
4	「平子雄一×コレクション」展	12月10日(土)14:00～14:20 1月28日(土)14:00～14:20	2		各回 40名	
5	「吉野石膏コレクション」展	未定	2		未定	

鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	「時代を映す絵画たち」展関連 トコトコ美術館vol.40 テーマ:かがみ	4月23日(土)10:30～12:00、14:00～15:30 4月24日(日)10:30～12:00、14:00～15:30	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組	18組 37名
2	「生誕100年 朝倉撰」展関連 トコトコ美術館vol.41 テーマ:えのぐ	7月9日(土)10:30～12:00、14:00～15:30 7月10日(日)10:30～12:00、14:00～15:30	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組	17組 36名
3	「生誕100年 朝倉撰」展関連 拡大!美術館 テーマ:えのぐ	7月22日(金)10:30～12:30、14:00～16:00 7月31日(日)10:30～12:30、14:00～16:00	4	小学生	各回 8名	32名
4	「日本の中のエドゥアール・マネ」展関連 トコトコ美術館vol.42 テーマ:マネのまね	10月15日(土)10:30～12:00 14:00～15:30 10月16日(日)10:30～12:00 14:00～15:30	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組	
5	「日本の中のエドゥアール・マネ」展関連 あかちゃんと家族の鑑賞会	10月2日(日) 10:30～11:30、13:30～14:30	2	0～2歳の赤 ちゃんとその 家族	各回 10名	
6	「平子雄一×コレクション」展関連 拡大!美術館 テーマ:木	12月4日(日) 10:30～12:30、14:00～16:00	2	小学生	各回 8名	
7	「平子雄一×コレクション」展関連アート句会 美術館で俳句を作ろう 講師:北大路翼(俳人)	12月11日(日) 10:30～12:30、14:00～16:00	2	中学生以上	各回 15名	
8	「平子雄一×コレクション」展関連 トコトコ美術館vol.43 テーマ:木	1月21日(土)10:30～12:00 14:00～15:30 1月22日(日)10:30～12:00 14:00～15:30	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組	
9	「吉野石膏コレクション」展関連 トコトコ美術館vol.44 テーマ:未定	未定	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組	
10	「吉野石膏コレクション」展関連 あかちゃんと家族の鑑賞会	未定	2	0～2歳の赤 ちゃんとその 家族	各回 10名	

講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	「生誕100年 朝倉摂」展関連トークイベント 「アヴァンギャルド母 朝倉摂のこと」富沢亜古(俳優)	7月16日(土)15:00~16:30	1	中学生以上	30名	32名
2	「日本の中のエドゥアール・マネ」展関連講演会 三浦篤(美術史家・東京大学教授)	9月24日(土)15:00~16:30	1	中学生以上	40名	34名
3	「日本の中のエドゥアール・マネ」展関連講演会 島田紀夫(美術評論家・実践女子大学名誉教授)	10月8日(土)15:00~16:30	1	中学生以上	40名	
4	「日本の中のエドゥアール・マネ」展関連講演会 小野寛子(当館学芸員)	10月22日(土)15:00~16:30	1	中学生以上	40名	
5	「平子雄一×コレクション」展関連アーティストトーク 平子雄一(美術作家)	11月19日(土)15:00~16:30	1	中学生以上	70名	
6	「吉野石膏コレクション」展(仮称)関連講演会	未定	1	中学生以上	30~40名	

⑤ ミュージアムコンサート・ライブパフォーマンス等

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	「日本の中のマネ」関連特別コンサート 出演:平田侑(ピアノ)、神野優子(ヴァイオリン)	9月17日(土)18:20~	1	中学生以上	30名	40名

) ネリピラボ(自分の好きな材料で好きなものを作る実験室)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	ネリピラボ	1~3月	3	小中学生	15名	

) 施設等紹介事業(施設や所蔵品から美術館を知るプログラム)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ	8月4日(木)10:30~12:00、14:00~15:30 8月5日(金)10:30~12:00、14:00~15:30	4	5歳~ 小学2年生	各回 10名	32名
2	所蔵品カードであそぼう!	未定	2	小学生~ 大人	各回 16名	
3	おでかけ美術館	未定	1	小学4~6 年生	10名	

学校関連事業

) スクールプログラム 内容を記載したパンフレットを作成し各学校に配布する。

団体鑑賞	美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする。
施設見学	各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する。
職場体験・訪問	受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える。
出張プログラム	担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする。

) ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。

各回ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

令和4年度は5回開催する。

	展覧会名	参加人数
1	「時代を映す絵画たち」展	18名
2	「生誕100年 朝倉摂」展	9名
3	「日本の中のマネ」展	9名
4	「平子雄一×練馬区立美術館コレクション」展	
5	「本と絵画の800年」展	

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

1 来館者の安全確保体制

- ① 来館前の検温実施を要請し、来館自粛を求める条件をホームページ等で周知する。
 - ア 37.5℃以上の発熱があった場合
 - イ 咳・咽頭痛などの症状がある場合
- ② 混雑時は館内滞在時間を1時間から1時間30分程度とすることを依頼する。
- ③ 館内での検温、咳エチケット、マスク着用、手洗い、手指消毒を要請する。
- ④ 上記①～③について館内入口に掲示する。
- ⑤ 貸出物(車いす、ワークショップ時の道具、アンケート用筆記具等)は消毒を行い貸し出す。
- ⑥ 観覧中に感染が疑われる体調不良者が発生した場合には、あらかじめ準備した他の来館者から隔離できるスペースでの休憩を促し、救急要請する。
- ⑦ 封筒に入れたマスクを用意し、着用していない来館者に受付・監視職員が声かけ、配付する。

2 スタッフの安全確保体制

- ① スタッフは就業前に検温する。
- ② 発熱のあるスタッフには医療機関の受診を促し、診断結果を確認する。

下記の症状に該当する場合は自宅待機とする。

咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻づまり、味覚・嗅覚障害、目の痛みや角膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、吐き気・嘔吐
- ③ 咳エチケット、マスクの着用、手洗い・手指の消毒を徹底する。
- ④ 接客対応には、マスク着用・アクリル板での遮断、フェイスシールドの着用で飛沫感染を防ぐ。
- ⑤ 現金やチケットのやりとりにはトレーを使用する。

3 館内管理

- ① 館内
 - ア トイレ等の共有部分および不特定多数の人が触れる場所を頻繁に清掃
 - イ 入口等適切な場所に手指消毒液を設置
 - ウ 清掃スタッフのマスク、手袋着用の徹底、清掃後の手洗いの徹底
 - エ トイレに手洗いを促す掲示
 - オ ハンドドライヤーの使用中止
 - カ 過密を避けるため、エレベーターの利用は階段昇降が困難な方に限定

② ロビー

- ア 対人距離を確保するため、フロアマーカ―を設置
(チケット購入の列・トイレの列・グッズ購入の列)
- イ ソファは間隔を空けて座るよう、座れない場所に表示
テーブル・椅子は間引きして配置

③ 受付カウンター

- ア アクリル板の設置
- イ チケットおよび現金受け渡しにトレーの使用

④ 展示室

- ア 監視員のマスクの着用
- イ 観覧者の入室時のチケット確認の緩和
- ウ 職員の定期的な見回りによる過密状況のチェック

4 混雑時の入場制限の実施

① 展示室…約 260 人

※ 1 m の対人距離をとれる人数 524 m^2 (展示室全体) $\div 2 \text{ m}^2 = 262$ 人

② ロビー…約 40 人

5 広報・周知

① ホームページ・館内掲示への記載により来館時の注意事項を周知する。

- ア 来館前の検温実施の要請、来館自粛を求める条件の記載
 - ・ 37.5℃以上の発熱があった場合
 - ・ 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻づまり、味覚・嗅覚障害、
目の痛みや角膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、吐き気・嘔吐の症状がある場合
- イ 館内での検温、咳エチケット、マスク着用、手洗い、手指消毒の要請の記載
- ウ 身体的距離の確保徹底の記載
- エ 入場制限についての記載
- オ 滞在時間の目安を 1 時間～1 時間半とする要請の記載
- カ 展示室内での会話を控える要請の記載
- キ 作品の前で長時間立ち止まらない要請の記載

6 混雑時の対応

- ① ホームページ、Twitter で混雑状況を発信する。
- ② 入場制限を行う場合は、未利用のギャラリー等を入場待ちスペースとして使用する。
- ③ 誘導スタッフを配置する。
 - ア 入場者の整理、制限、誘導等について、専門スタッフを配置
 - イ 混雑状況により、必要であれば誘導スタッフを増員

令和4年11月2日
地域文化部美術館再整備担当課

練馬区立美術館および練馬区立貫井図書館改築等にかかる
基本設計候補者の公募について

1 業務内容

練馬区立美術館・貫井図書館の改築およびそれに伴う美術の森緑地の改修に係る基本設計業務

2 選定方法

公募型の企画提案方式（プロポーザル方式）で行い、選定委員会による一次審査と二次審査を実施し、候補者を選定する。

(1) 一次審査

専門家5名により、提案内容等について、書類による審査を行う（非公開）。

(2) 二次審査

一次審査通過者について、提案内容に関するプレゼンテーションおよびヒアリング（質疑応答）を実施する（プレゼンテーションおよびヒアリングは公開、審査は非公開）。

3 スケジュール（予定）等

令和4年8月1日（月）	プロポーザル実施要項の公表 ※区ホームページに、実施要項等を掲載
9月5日（月）	参加表明書等提出期限
9月16日（金）	～10月14日（金） 提案書等受付期間
11月初旬	一次審査
12月3日（土）	二次審査
～12月末	基本設計候補者決定